

**株式会社学研プロダクツサポート 様**

## 2万人超のマイナンバー管理と ワークライフバランスを実現する 17社のグループ人事システムを構築

グループ理念は「私たち学研グループはすべての人が心ゆたかに生きることが  
を願い今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」。  
学研グループのシェアードサービス企業である学研プロダクツサポート様は、  
抱えていた課題を解消し、将来を見据えた新たなグループ人事とマイナン  
バー管理への切り札として、「ProActive E<sup>2</sup>」を採用しました。



### User's Profile

# Gakken

**株式会社学研プロダクツサポート**

設立:平成21年10月

従業員数:191名(2015年10月1日現在)

事業内容:

- 雑誌・書籍などの出版物、教材、教具、マルチメディア関連商品など、あらゆる商品の製作マネジメントおよび著作権管理、製品安全審査などのサポート業務の受託。
- 経理、人事、総務、オフィス管理、情報システム、広報他の業務の受託。


 代表取締役社長  
 増山 敬祐 氏

 人事チームメンバー:(前列左)総合企画部長渡辺氏と  
 人事サービス部員の皆様

 マイナンバーチームメンバー:(後列右)総合企画部長渡辺氏  
 とマイナンバー管理課、基幹システムサービス部  
 PJメンバーの皆様

### 導入の背景

マイナンバー制度への対応と、労働生産性の向上のための  
新グループ人事システムの検討を並行して開始

学研プロダクツサポート様では、2009年の分社化以降、煩雑になっていた業務プロセスを見直し、労働生産性の向上による時間外勤務の削減を行い、ワークライフバランスを実現するためのシステム更改と2016年1月からのマイナンバー制度への対応を同時並行で検討されていました。

### 課題

- 1 システムがグループ会社管理に対応していないため、グループ間の転籍処理や転籍に伴う人件費負担企業の変更などの業務が煩雑となり、時間外労働が増加。
- 2 システムのサポート期限が迫り、生産性の向上に向けた改善が難しく、将来の管理対象会社の増加に対応することが困難な状況。
- 3 マイナンバー制度の開始に伴い、従業員以外にも執筆者などの個人事業主と合わせ、数万人規模のマイナンバー管理を安全かつ短期間で対応する必要があった。

### 選定のポイント

機能や操作性からサポート内容、10年TCO<sup>(※)</sup>を総合的に評価。  
プロジェクトメンバー、機能、コストで勝る「ProActive E<sup>2</sup>」を採用。

### 新システム選定のポイント(一部)

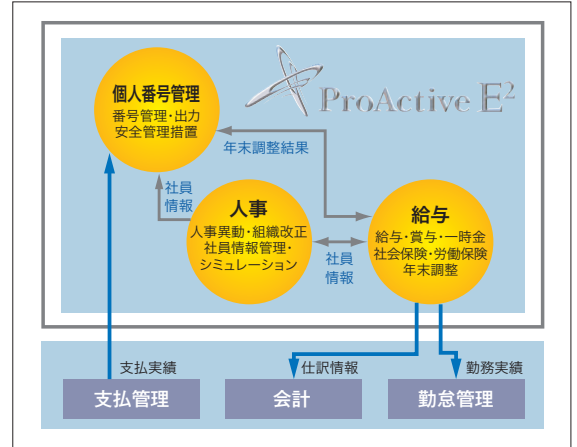
※TCO : Total Cost of Ownership (総所有コストのこと)

- 複数会社管理に対応し、会社間の人事異動をはじめとするグループ人事管理機能が提供されており、業務効率の向上が可能なこと
- グループ人事システムとしての導入実績が多く、今後の対象企業の拡張にも十分に対応可能なシステムであること
- マイナンバー対応、住所変更などの人事諸届ワークフロー、年末調整のセルフエントリーなど、新たなサービスの提供によりシェアードサービスの付加価値を高められること
- マイナンバー対応として、従業員と個人事業主のマイナンバーの収集、管理、利用、廃棄を「ProActive E<sup>2</sup>」に集約することで、情報漏洩に対するリスクマネジメントを実現できること

## 導入のプロセス

スケジュール通りの本番稼働実現のポイントは、  
制度対応への初動の早さとメンバーの主体性の高さ。

予定通りの本番稼働を実現した成功要因は何だったのか?1つ目のポイントは、メンバーの主体性の高さである。データ移行作業時に、移行データに必要項目が不足していた事実が発覚。そこで、プロジェクトメンバー全員が即刻、不足している情報の収集に奔走した。「当初想定していなかったデータ収集作業の発生が、スケジュールへ影響を及ぼさないか心配もありました。しかし、メンバーが主体的に、短期間で収集してくれたおかげで、計画通りに進めることが出来ました」とPMOを担当した熊谷氏は振り返る。2つ目のポイントは、早めにスタートができたこと。マイナンバーチームは、制度内容が確定する前から要件定義を開始し、計画的に対応を進めた。しかし、「制度の確定後、想定通りではありましたが、やはり手戻りが発生しました。ただ初動を早めていたことで社内運用の調整を行う余裕を持てたのと、制度内容を踏まえた当社からの機能要望を標準機能へ反映するなど、SCSKが即断即決で対応してくれたこともあり、予定通りの本番稼働を迎えられました」とマイナンバーチームのリーダーを務めた渡辺氏は言う。「また、全体を通して、SCSKの的確なプロジェクト管理と適切な運用提案をしてくれたことも、円滑に進んだ要因の1つです」と人事サービス部長の押目氏は、プロジェクトの成功要因を語る。



▲新システム概要図

## 導入後の評価

本番稼働後、時間外労働が40%削減されるなど、想定した効果を発揮。  
さらには、メンバーの意識改革などの副次的効果も生まれた。

本番稼働してから3ヶ月が過ぎ、人事システム、マイナンバー管理システムともに導入効果が現れているという。まず労働生産性の向上で期待した効果が現れている。1つ目は、人事諸届の電子化により、分散入力が進み、人事担当者によるシステムへの入力負担が激減したこと。また、従業員側でも記入した用紙を印刷・押印する必要がなくなり、従業員サービス向上にもつながっている。2つ目は、会計システムとの連携データ作成業務の負荷の軽減。「従来は、会計システムへの連携データは、担当者が手作業で作成していました。出向者が多いため、異動月の費用負担会社や計上額の振り分けを手作業で行うため、非常に煩雑でミスが起りやすい状況でした。ProActiveの稼働後は、連携データを作成する際のオペレーションが簡略化され、事前に定義された出力機能を実行するだけのため、時間にして65%が削減され、データの登録ミスも完全に無くなりました。さらに、出向者データ作成に限定すると90%の時間短縮を実現しています」と(押目氏)。こうした生産性の向上により、時間外労働は40%減少した。さらに、マイナンバーの収集でも、システムへのセルフエントリー機能を活用し、より効率的な収集を実現。また、人事データ活用の促進では、「旧システムは、人事サービス部員しかアクセスができなかったため、経営層であっても、人事サービス部にリクエストを行い情報を得ていました。ProActiveになり、社員の役職毎に権限設定を行うことで、自分の権限に応じて必要な情報を直接システムから検索し、タイムリーに取得できるようになったので、大変助かっています」と代表取締役社長の増山氏は言う。

想定した効果が発揮されていく中、副次的な効果として、メンバーの働き方や考え方に変化が生まれた。「プロジェクトを通じて、問題を提起し、課題の解決に取り組むという体験をしたことにより、常に問題意識を持ち、より良い方向を目指すという欲求を持つようになったことで、課題解決能力が全体的に向上したと

感じています。加えて、従来に比べ、声を掛け合って業務を遂行する姿が増え、メンバーの連携がより円滑となりました」と(押目氏)。グループ人事システムの今後について、押目氏は、「現在17社の人事業務をサポートしていますが、効率的な運用ができることで、今後の企業数の増加にも十分に対応できます。グループ内の人事システムについては、ProActiveへの集約を提案してゆく予定ですので、SCSKには、引き続き、手厚いサポートをお願いしたいと思っています」。また、マイナンバー管理システムには、「今後も国が定めた変更内容には『待ったなし』の対応が求められるため、迅速な対応を期待しています。当社を始めとする利用企業から、多くの要望が寄せられると思います。それらの要望を吸収し、ProActiveでマイナンバーを管理するのが、『確実に最も簡単といわれるデファクトスタンダードなシステム』となることに期待をしています」と(渡辺氏)。最後に増山氏は、「現状、業務経歴などの全ての情報をProActiveに集約できていないため、人材情報基盤として整備を進めていく予定です。これを実現すると、人材情報が一元的に可視化されるため、グループ全体での人材の最適配置ができるようになります。たとえば、グループ横断で実施するプロジェクトを立ち上げる際、メンバーを選定するわけですが、現在は人の記憶を頼りに組んでいます。しかし、人材情報が可視化されると、データに基づいた最適なチーム編成が可能となるので、実現に向けたサポートをお願いしたいと思います。最後に、システムを組んで終わりではなく、課題を解決するためのソリューションが重要です。SCSKは、現在の課題に対するソリューションは当然のこと、経験値に基づく、潜在的な課題への改善提案をしてもらえる企業だと思っていますので、ぜひ、継続的な提案を頂きたいと思っています」。終わりではなくスタート。「ProActive E2」の更なる進化と課題解決のパートナーとしてのSCSKに対する学研プロダクツサポート様の期待は熱い。



## 代表的な導入効果

- 労働生産性の向上により、時間外労働を40%削減
- 役職などに応じた権限設定により、人事データを閲覧可能とし、データの活用が促進
- 導入プロジェクトに参加し、課題を解決するという体験から、良い方向を目指す欲求を持つという意識変革が起こった

●お問合せ先

**SCSK** SCSK株式会社

SCSK カスタマーセンター

0800-500-4000 (無料) 受付時間 / 月～金 9:00～18:00  
(祝日、年末年始、当社指定日を除く)

●携帯電話でのお問い合わせTEL:03-6670-2990

ProActiveWebサイト: <http://proactive.jp/> E-mail: [proactive@ml.scsk.jp](mailto:proactive@ml.scsk.jp)